

# 第3回県立高等学校改革懇談会 『小名浜・いわき海星』

日時：令和元年11月5日（火）17：30～19：00

場所：小名浜高等学校 会議室

## 福島県教育委員会

# 本日の進め方

1	第2回高等学校改革懇談会における 内容等について
2	検討内容について
3	今後の再編整備スケジュールについて

1

第2回高等学校改革懇談会における  
主な内容について

# 統合校の方向性

## 小 名 浜 高 校

定員 80名

○ 普通科(1学級) ○ 商業科(1学級)

## いわき海星高校

定員 160名

○ 水産科(4学級)

・海洋・食品システム・情報通信・海洋工学

2021年4月開校予定

## 小名浜・いわき海星統合校（仮称）

定員：200名(5学級) 普通1・商業1・水産3

場所：小名浜高校校舎

水産科実習 → いわき海星高校校舎

# 学科構成について(案)

- 普通科 1 学級 (40 名)
- 商業科 1 学級 (40 名)
- 水産科 3 学級 (120 名)

現在ある 4 学科と専攻科設置を維持するため

**海洋科** (40 名) **1 学級**

**海洋工学科** (40 名) **1 学級**

**情報通信科** (20 名) **食品システム科** (20 名) **1 学級**

※ 富山県氷見高校 農業科学科 20 名と海洋科学科 20 名とで 1 学級とし、専門教科の時間は分かれて授業を行っている。

# 校舎利用（案）

- 小名浜校舎（本校舎）といわき海星校舎（水産校舎）
- 水産科の生徒は、朝から放課後まで水産校舎で学ぶ日を週に数日設定し、授業のために生徒が校舎間を行き来することはしない。
- 週に 1 日全員が本校舎に登校（全員登校日）  
学校行事・生徒会行事を設定
- 水産校舎で普通教科を行う場合は、担当教員が移動する。

## 主な御意見・御質問

- ① **水産科の学科構成**について、さらに検討すべきではないか。
- ② 地域を学びのフィールドとした、生徒の主体的学習活動など**特色化**について、早期の具体的検討が必要である。
- ③ **学科間で連携した学び**の内容について。
- ④ 他県の**統合例でのメリット・デメリット**を示してほしい。
- ⑤ **専攻科の生徒の教室**も小名浜高校側に確保が必要ではないか。
- ⑥ 生徒の交流も考えた校舎の利用方法を検討すべきではないか。

2

検討内容について

# ① 学科の構成及び学科概要（案）

## ● 水産科 ～ 3学級（120名定員）の中で4学科設置～

### • 海洋科（20名）

学校認定資格

五級海技士（航海）

【取得推奨資格】 第2級小型船舶操縦士、第1級海上特殊無線技士、漁業技術検定

### • 情報通信科（20名）

学校認定資格

第三級総合無線通信士

【取得推奨資格】 第1級海上特殊無線技士、第2級陸上無線通信士、通信技術検定

### • 食品システム科（40名）

【取得推奨資格】 食品技能検定、HACCP基本技能検定、日商簿記検定

### • 海洋工学科（40名）

学校認定資格

五級海技士（機関）

【取得推奨資格】 移動式クレーン運転士、フォークリフト運転技能講習

# ① 学科の構成及び学科概要（案）

## ● 普通科 ～ 進路希望に対応した類型設定 ～

- 進学コース（国公立・中上位私立大を目指した文理融合の学び）
- 教養コース（基礎学力の定着、地域で活躍する人材の育成）
- 共通内容（水産・商業の選択科目の設定を検討）

## ● 商業科 ～ 商業科目を総合的に学習 ～

- 商業の基礎科目の習熟と高度資格への対応（商業系大学進学）
- 資格取得の推奨、ビジネススキルの修得
- 商業と水産の協働した学び（アイデアをビジネスに）

## ② 特色化について

- **語学・言語活動の充実**

語学・言語活動の強化…英語プレゼン活動、演劇ワークショップ  
ICT活用での英語検定C B T※ 等

- **教科横断学習への取組**

「防災・生命の尊重」 震災をともに乗り越えた経験から

「伝統文化の継承」 武城太鼓、じゃんがら念仏踊り

「海洋・環境・食」 水産科や理科、家庭科の協働した学び

- **フィールドワークや課題発見学習への取組**

地理歴史科目の「地理探究」などによる対応

※ 英検C B T (Computer Based Testing)とは、コンピュータを使って受験する英検で、  
2020年度以降は「大学入試英語成績提供システム」の対象にもなる。

### ③ 特色としての学科間での連携した学び

- **普通科と商業科の連携した学び**

選択科目の設定及び資格取得（簿記や情報処理など）

- **商業科と水産科の連携した学び**

6次産業化に関する商業科と水産科で協働した取組

販売士や簿記検定など資格取得の面での連携 等

- **普通科と水産科の生徒がともに学ぶ取組**

「総合的な探究の時間」における協働

選択科目の設定など

## ④ 他県の統合例における状況

### ● 統合して良かった点

- 一定規模が確保されたことで、部活動が盛んになった
- 他の学科との連携した学びの実践
- 2つの校舎を使うことで、地域に学校が残り、現有施設を有効に活用できている

### ● 課題

- 施設管理や職員の管理面での負担増

## ⑤ 専攻科生徒の教室について

### ● 専攻科のカリキュラム

- 海洋科（乗船実習 1年次:1年 2年次:3ヶ月）

1年次:水産科 36単位／36単位 2年次:水産科 29単位／29単位

- 無線通信科

1年次:水産科 26単位／30単位 2年次:水産科 30単位／30単位

- 機関科（乗船実習 1年次:9ヶ月 2年次:6ヶ月）

1年次:水産科 41単位／41単位 2年次:水産科 30単位／30単位

### ● いわき海星高校校舎の教室利用を基本

## ⑥ 水産科生徒(本科生)の校舎利用の想定

### ● 水産科単位数から見た校舎利用想定（現教育課程）

- 水産科各科 1年：9単位（週9時間）

例	使用校舎／曜日	月	火	水	木	金
	小名浜校舎 3日	普通6時間		普通6時間		普通6時間
	いわき海星校舎 2日		普通1時間 水産5時間		普通2時間 水産4時間	

- 各学年、各科の教育課程に応じて校舎利用を決定
- 水産科の科目でも、可能なものは小名浜校舎での実施を検討

※ 千葉県立館山総合高等学校

「海洋情報技術」「小型船舶」「食品管理」など本校舎で実施

3

今後のスケジュールについて

# 教育内容検討委員会及びワーキンググループにおける 開校準備スケジュール

2019(R 1)年度													2020(R 2)年度											2021(R 3)年度	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
教育方針・教育目標				特色化・教育課程																				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%; height: 100%;">           統合校 開校式入学式         </div>	
志願してほしい生徒像	校名の検討			校歌・校章・校旗																					
	統合校部活動検討						統合校案内の検討						統合校案内の作成・配布				統合校校務分掌の検討								調整
									統合校学校経営・運営ビジョン検討					合同職員会				合同職員会(入学者選抜・統合校内規等検討)							
														修学旅行先検討				生徒交流会の実施							
														中学校訪問											
																		開校式準備 備品整備等							
2019年度入学生：統合時3年生													2020年度入学生：統合時2年生												
2020年度入学者選抜 前期選抜・連携型選抜3/4~3/6 後期選抜3/24																									